



# 屋外タンク付属配管が破断しスロップオイル漏えい

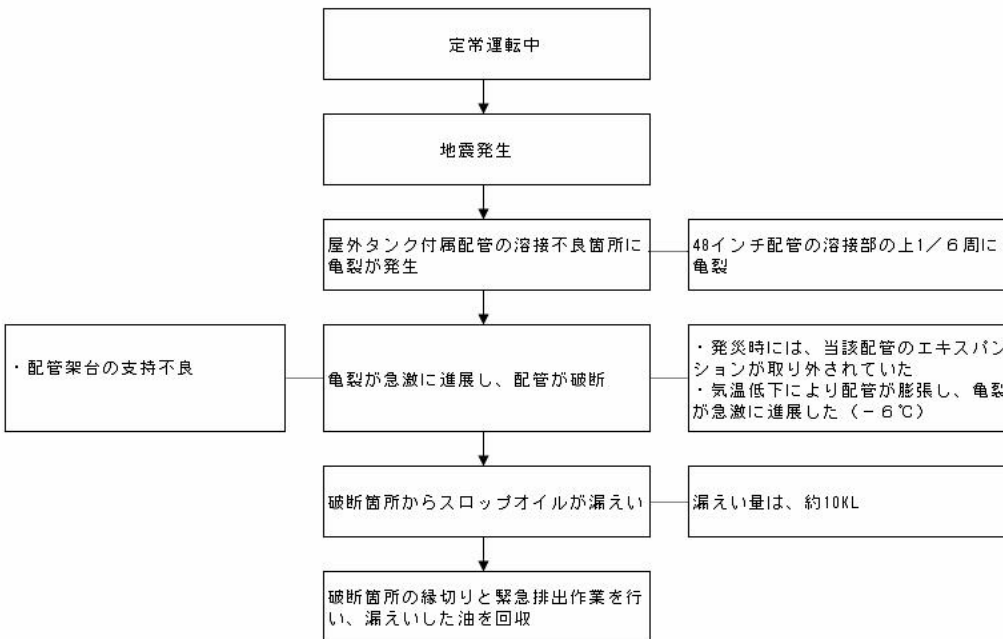
## 事象進展図

00286	屋外タンク付属配管が破断しスロップオイル漏えい
発災年月日	2004年2月20日
装置	貯蔵・出荷設備
運転状況	定常運転中・ルーチン作業中
特徴	地震や気温低下などに起因するタンク配管の亀裂、破断

原因

事象の進展

備考



### 再発防止対策

- ①非破壊検査による配管溶接部不良箇所の点検および補修
- ②配管架台支持不良箇所の修正

### 安全専門家のコメント

地震発生後の再稼働にあたっての入念な健全性の確認が必要である。  
地震国である日本は地震対応はかなり進んでいるが、対応後の定期的な点検を欠かさないことが望まれる。  
配管の溶接箇所・部分は、施工時の熱影響により靱性がやや低下している。溶接箇所は補修完成時はもとより、日頃の配管点検管理の重点ポイント箇所である。

### 引き金事象発生の原因

- ・建設時の溶接不良
- ・配管架台の支持不良

### 事故の引き金事象

- ・タンク配管溶接部の亀裂、破断

### 事故に関係した直接・間接要因

- 《外部要因》地震による振動
- 《外部要因》発災時の気温低下



## 屋外タンク付属配管が破断しスロップオイル漏えい

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

▶ 添付資料



[図 タンク周辺配管概略図](#) (13 KB)

▶ キーワード(>同義語)

🔑 払出系

🔑 健全性

🔑 配管 > パイプ

🔑 再稼働

🔑 地震

🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備

🔑 溶接不良

🔑 検査

▶ 関連情報